

大坂町奉行吟味伺書の考察(二)

藤原和

二 東京大学法学部法制史資料室蔵 大坂町奉行吟味伺書(承前)

3 文久二戌年三月十七日 中嶋屋卯助外一人、かたり一件

(表紙)

「文久二戌年三月十七日差出、同月廿三日差図、同月晦日承附出(朱書)

南瓦屋町中嶋屋卯助外老人

かたり一件吟味伺書

書面伺之通御仕置可申付旨御附札を以被仰渡承知仕候

戊

三月廿四日

鳥居越前守

南瓦屋町中嶋屋卯助外老人かたり一件吟味仕候趣、左之通御座候

川村老岐守

南瓦屋町

天満屋のふ代判

吉郎兵衛借屋

中嶋屋

去酉十月十九日入牢
同月廿三日重病ニ付、下宿所預

卯助
戊三拾貳歳

(黄紙下ケ札)

「此卯助儀、行衛不知喜兵衛与手段申合、同人所持之小兒手遊びニ相用ひ候戎金与唱候小判之形似セ候品を紙ニ包、此者懐中いたし、喜兵衛者他国もの相見候往来商人躰之男与連立歩行候跡ハ此もの罷越、最寄

ニ而右小判を紙包之儘拾ひ取候間、真偽之目利いたし貫度旨頼聞、喜兵衛江相渡候を同人請取、右之男も見受候様仕成、手早ニ相改、如元紙包ニいたし、右者正真之小判ニ無相違由申繕、此もの江差戻候上、右戎金与商人鉢之男持合居候通用金与引替方之儀ニ付、喜兵衛義早々言葉を廻し、右之男を申欺、終ニ右戎金を通用金三分与引替貫、右金子かたり取候而已ならず、右喜兵衛并是又行衛不知喜助・死亡采助儀、外方ニ而戎小判を以同様往來人を申欺、かたり取候金子与乍承、右金子を以右之者共酒食および候節、振舞受候段、不届ニ付、入墨敲可申付候哉」

(附札)

「此卯助儀、伺之通

入墨敲可被申付候」

右之もの吟味仕候処、近頃貧窮ニ而難取統相成候より与風悪心差発、兼而知人無宿尾割の喜兵衛与申もの申合、同人持合候小兒手遊び之戎金与唱、小判之形ニ似セ候品を正真之小判与申偽かたり事可致与存付、右喜兵衛与手

段示合、去酉二月廿日此もの儀右戎金壹枚を紙ニ包、懐中いたし、喜兵衛与少し立別、所々立廻り場合相考居候折柄、撰州在之内村名不存往還ニ而他国者与相見江候往來商人鉢之男を見受候より、兼而手段示合置候通、喜兵衛者右之男与道連ニ相成、立並ひ往來いたし、此もの者跡參、右紙包之小判を最寄ニ而拾ひ取候間、性合の目利いたし呉候様、喜兵衛江相頼、素より互ニ不見知もの之鉢ニ取繕申聞相渡候を喜兵衛請取、右之男も見受候様仕成、手早ニ相改、如元紙ニ包、右者正真之小判ニ無相違事之由申之差戻候上、同人儀右鉢之金子ニ而者遣ひ勝手も不宜哉与存、素々拾ひ物之儀ニ付、金三分ニいたし候ハ、引替可遣旨申聞候付、此者儀幸ひ外金品入用之折柄ニ付、右之金高ニ而引替貫度旨申聞候節、喜兵衛儀持合候金子無之由ニ而、其段右之男江申聞、自然所持之金子有之候ハ、取替置呉、小判者途中ニ而両替いたし候上、取替分返済可致、勿論夫迄之処者右小判者手渡いたし可置旨、品克言葉を廻し申聞候処、右之男承知いたし、此者所持之戎小判壹枚紙包之儘受取、

正金三分此もの江相渡候をかたり取、立別候上、最寄ニ待受居候内、喜兵衛儀右之男を申透し逃去、此もの待受居候場所江罷越候付、右かたり取候金子喜兵衛与分ケ取立別候上、当座ニ遣ひ捨

(朱書)

「右かたり被取候もの名所相知不申候」

同三月十日此者儀於途中兼而知人生玉社地洛陽屋駒吉代判与兵衛・日雇喜助・旗州北平野町三丁目大和屋松之助・日雇栄助并右喜兵衛ニ出会候節、右之もの共儀申合、外方ニ而前同様戎小判を以、往來人を申欺、金老両式朱かたり取候間、右金子を以及酒食候積ニ付、同道可致旨申聞候付、聞受、右之もの共ニ付添參、名所不存煮売屋ニ而酒食振舞受、右之もの共与立別、其後出会不申候処、被捕候由申之候

(朱書)

「右喜助・栄助をも召捕、吟味中入牢之上、兩人共重病ニ付、下宿所預申付置候処、栄助儀申口不聞内病死仕、喜助者預ケ中番人共油断之透を考逃去候旨、所之もの共訴出候付、尋并捕方手当申付置候、右ニ

付不念有之候もの共吟味詰、追而相同候様可仕候

一右かたり被取候もの名所又者喜兵衛行衛相知不申候付、同人も是又捕方手当申付置候」

右始末不屈之旨、吟味詰候処、無申披由申之候

西高津新地四丁目

米屋□兵衛借屋

去酉十月廿三日入牢

同月廿九日重病ニ付、下宿所預

津国屋
政次郎
戌三拾八歳

(黄紙下ヶ札)

「此政次郎儀、死亡庄兵衛与手段申合、同人所持之小児手遊ひニ用ひ候戎金与唱、五兩判之形ニ似セ候品三枚を紙ニ包、此もの懐中いたし、其節々庄兵衛者他国者と相見江候往來商人躰之男与連立歩行候跡々此もの罷越、最寄ニ而右五兩判を紙包之儘拾ひ取候間、真偽之目利いたし賈度旨庄兵衛江頼聞相渡候を同人請取、右之男も見請候様仕成、手早ニ相改、如元紙ニ包、右者止真之五兩判ニ無相違由申繕、此もの江差戻候上、同人義右躰素々拾ひ物之義ニ付、乍聊ツ、

挨拶金差出候間、右五兩判を庄兵衛并右之男与配分
いたし呉間敷哉之旨申懸ケ候を聞受、致配分可遣抔
与言葉を廻し申聞、庄兵衛者猶右之男を申透、終ニ右
戎金を相渡為挨拶、右之男とも合金三分錢四百
文為差出、右金錢かたり取候段、不届ニ付、入墨敲
可申付候哉」

(附札)

「此政次郎儀、伺之通

入墨敲可被申付候」

右之もの吟味仕候処、近頃貧窮ニ而難取続相成候より、
与風悪心差発、兼而知人無宿尾割つづの庄兵衛与申もの申
合、同人持合候小兒手遊ひ之戎金与唱、五兩判之形ニ
似セ候品を正真之五兩判与申偽、かたり事可致与存付、
右庄兵衛与手段示合、去酉二月日不覚、此もの儀、右
戎金三枚を紙ニ包、懐中いたし、庄兵衛与少し立別、
所々立廻り場合相考居候折柄、町名不存往来ニ而他国
もの相見江候往来商人躰之男を見受候より、兼而手段
示合置候通、庄兵衛者右之男与道連ニ相成、立並ひ往来

いたし、此もの者跡より参り、右紙包之五兩判三枚を
最寄ニ而拾ひ取候間、性合目利いたし呉候様、庄兵衛江
相頼、素合互ニ不見知もの之躰ニ取繕、申聞相渡候を
庄兵衛受取、態与右之男も見受候様仕成、手早ニ相改、
如元紙ニ包、右者正真之五兩判ニ無相違事之由申之、差
戻候付、此者儀右躰之金子を是迄所持いたし候儀無之、
直様遣ひ方ニいたし度儀有之候得共、右三者遣ひ勝手
不宜趣申之、態与当惑いたし居候躰ニ仕成居候処、庄
兵衛儀右躰素々拾ひ物之儀ニ付、乍聊宛挨拶金差出候
間、右五兩判を庄兵衛并右之男与老枚宛配分いたし呉
間敷哉之旨申掛ケ候付、此者外金品入用之折柄ニ付、
配分いたし可遣間、右之次第者口外いたす間敷旨申聞
候処、庄兵衛儀、右之趣道連之男江申談候処、同人承
知いたし心嬉敷躰ニ而懐中合正金式朱与錢式百文差出、
庄兵衛江相渡、同人も所持之金錢同様差出、夫々相渡
候をかたり取、右之戎金式枚を老枚宛紙包ニいたし、兩
人江相渡立別候上、最寄ニ待受居候庄兵衛儀、右之男
を申透逃去、此もの待受居候場所江罷越候付、庄兵衛

差出候金錢者同人江差戻、かたり取候金錢分ケ取、猶も庄兵衛持合居候戎金を取足、町名不存所々ニ而往來商人躰之男を同様申欺、金貳分貳朱与錢貳百文貳ケ度ニかたり取

(朱書)

「右かたり被取候もの共、名所相知不申候付、聞探方

申付置候」

右金錢も分ケ取、不殘当座ニ遣捨打過候処、被捕候由申之候

(朱書)

「右庄兵衛をも召捕及吟味候処、申口符合仕、いまた

口書不申付内、病死仕候、且同人所持いたし居候戎

金取上、相改候処、全小児手遊びニ用ひ候品柄ニ而、

通用金ニ見紛候様取拵候品ニ而者無御座候、尤右品取

上置申候」

右始末不屈之旨、吟味詰候処、無申披由申之候

右吟味仕候趣、書面之通御座候、御仕置之儀黄紙下ケ

札を以相伺申候、尤右者久須美佐渡守参府之節、引渡

候一件之内ニ御座候、以上

戊
三月

川村老岐守

4 文久二戊年三月十七日 無宿寅吉外七人、強盜・盜并盜物与承り候品等買取、徳用取、盜金品貰受候一

件

(表紙)

「文久二戊年三月十七日差出、同月廿二日指圖、四月三日承附(朱書)

一 強盜并盜

盜物与承り候品又者同品ニも

可有之与怪敷乍心付買取 一件吟味伺書

或者同様心付候品仲間ニ

不加買取徳用取

一 盜金品貰受

書面伺之通御仕置可申付旨御附札ヲ以被仰渡承知仕候
戊三月廿六日

鳥居越前守

川村老岐守」

無宿大坂の寅吉外七人、強盜・盜并盜物与承り候品又者同品ニも可有之与怪敷乍心付買取、或者同様心付

候品仲間ニ不加買取、徳用取、盗金品貰受候一件、
吟味仕候趣、左之通御座候

(ママ)

無宿

寅 吉

同

三州の

為 吉

戌廿四歳

同断

同

あごなしの

亀 吉

戌廿六歳

同十一月八日入牢

(黄紙下ヶ札欠)

(附札)

「此寅吉外式人儀、

伺之通寅吉者獄門、

為吉・亀吉者死罪

可被申付候」

右之者共吟味仕候処、去々申十一月四日寅吉・為吉儀、
無宿音吉申合、平野町老丁目人家土藏之戸建寄有之候
を明這入、餅米四石与纏節目方五百目計盗取

(朱書)

「右被盜主者川崎屋七兵衛ニ而其節訴出申口符合仕候」

同月廿七日寅吉儀、右音吉申合、津村中之町人家表之

戸立寄有之候を明這入、音吉者帯居候脇差拔持、同人

頭取家内之者を捕、金銀可差出、声立候ハ、可殺旨申

威、衣類物数拾壹品盗取

(朱書)

「右被盜主者若狭屋亀吉ニ而其節訴出申口符合仕候」

同十二月七日寅吉・為吉儀、右音吉申合、淡路町老丁

目人家土藏之戸立寄有之候を明這入、白米七斗与半切

紙壹丸盗取

(朱書)

「右被盜主者大津屋新助ニ而其節訴出申口符合仕候」

同月廿五日此者共儀、右音吉申合、内平野町人家土藏

ニ而同様内江入、油四斗入六樽盗取

(朱書)

「右被盜主者森本屋新助ニ而其節訴出申口符合仕候」

去西正月六日寅吉・為吉儀、右音吉申合、為吉者辺ニ而

人參候を見張罷在候内、寅吉・音吉儀、本町老丁目人

家ニ而同様内江入、金四両・銀拾六匁・当百錢三拾枚

与衣類物数五拾九品盜取

(朱書)

〔右被盜主者佐渡屋喜助ニ而其節訴出申口符合仕候〕

同月十八日同様申合、本勒町人家表之戸明掛り有之候
内江入、座敷軒先ニ掛ケ有之候銅樋五間盜取

(朱書)

〔右被盜主者小西屋庄九郎ニ而其節訴出申口符合仕候〕

同月廿日寅吉儀、右音吉申合、南本町老丁目人家ニ而
も同様内江入、衣類物数拾壹品盜取

(朱書)

〔右被盜主者釘屋平助ニ而其節訴出申口符合仕候〕

同月廿二日寅吉・為吉儀、右音吉申合、北濱老丁目人
家土藏之戸立寄有之候を明這入、麦拾俵盜取

(朱書)

〔右被盜主者肥前屋篤兵衛ニ而其節訴出申口符合仕候〕

同二月朔日寅吉儀、右音吉申合、本町老丁目人家裏口
之戸明掛り有之候内江入、衣類物数八品盜取

(朱書)

〔右被盜主者泉屋治郎兵衛ニ而其節訴出申口符合仕

候〕

同月二日寅吉・為吉儀、右音吉申合、備後町式丁目人
家表之戸明掛り有之候内江入、衣類物数拾五品盜取

(朱書)

〔右被盜主者廣屋万助ニ而其節訴出申口符合仕候〕

同月七日同様申合、北濱老丁目人家ニ而も同様内江入、
酒三斗五升入式樽盜取

(朱書)

〔右被盜主者池田屋喜三郎ニ而其節訴出申口符合仕候〕

同月十三日此者共儀、右音吉申合、寅吉・為吉者辺ニ而
人參候を見張罷在候内、亀吉・音吉儀、南久太郎町老
丁目人家土藏之戸立寄有之候を明這入、衣類物数百三
拾八品盜取

(朱書)

〔右被盜主者榎並屋善兵衛・大和屋久太郎・北久太郎

町老丁目丹波屋徳兵衛ニ而右之もの共儀、南久太郎
町老丁目桑名屋吉兵衛所持之土藏借受、銘々所持之
品差入置候処、善兵衛者衣類物数七拾壹品、久太郎
者同式拾六品、徳兵衛者同四拾壹品、本文之通盜被
取候由ニ而銘々吉兵衛申合、其節訴出申口符合仕候〕

同月十六日同様申合、京橋六丁目人家土蔵ニ而も同様内江入、灯油四斗入七樽盜取

(朱世)

「右被盜主者米屋又兵衛ニ而其節訴出申口符合仕候」

同月十七日寅吉儀、右音吉申合、内平野町人家表之戸固辭明這入、衣類物數四拾九品盜取

(朱世)

「右被盜主者平野屋源兵衛ニ而其節訴出申口符合仕候」

同三月十日同様申合、内兩替町人家ニ而も同様内江入、錢七百元与衣類物數六拾六品盜取

(朱世)

「右被盜主者伊丹屋源次郎ニ而其節訴出申口符合仕候」

同月十四日同様申合、安土町巷丁目人家ニ而も同様内江入、寅吉頭取、家内之者を捕、金銀可差出、声立候ハ、存寄有之旨申威し、金貳両与当百錢貳拾六枚盜取

(朱世)

「右被盜主者紀伊國屋弥兵衛ニ而其節訴出申口符合仕候」

候」

盜物与者不申聞、油・酒・白米不殘餅米老石壹斗与五拾七品者兼而知人内本町橋詰丁岡田屋伊三郎江代金拾九

両貳分与錢拾三貫文、銅樋・半切紙不殘与貳百拾六品者西高津新地四丁目大和屋政吉江代金拾四兩貳分貳朱与錢拾五貫三百文、麦不殘者居所不存治兵衛与申者江代金貳兩貳分、九品者往来之古手買江代錢三貫貳百五拾文ニ売払、鑿節不殘者給仕舞、六拾六品者音吉持退、餅米貳石九斗者嵩高重目之品ニ付、難持退、途中ニ而取捨、九品者取落、右壳代并盜取候金銀錢とも手合限り分ケ取、当座ニ遺捨候処、被捕候由申之候付

(朱世)

「右音吉行衛、又者治兵衛居所并米品取捨、取落し候

場所、或者往来之古手買名所相知不申候付、音吉者捕方手当申付置候、且伊三郎・政吉儀怪敷心付、亦者盜物与承候品買取候由相聞候付、兩人とも吟味詰、奥之ケ條ニ申上候」

寅吉者右之外ニも手荒之盜いたし候儀、可有之与重々吟味仕候処、曾而右様之儀無之由申之候得共、為吉・亀吉一同右始末不届之旨吟味候処、無申披誤入候由申之候

内本町橋詰町

有野屋万蔵借屋

岡田屋

去酉十月廿二日入牢
同十一月十日重病ニ付、下宿所預

伊三郎
戌三拾七歳

(黄紙下ヶ札)

「此伊三郎儀、寅吉・為吉并行衛不知音吉々買取呉候様申之、持參候品者身分不相応ニ而盜物ニも可有之与怪敷乍心付、徳用可致与欲心ニ迷ひ、買取候後、猶又音吉より買取呉候様申之、持參候炭者盜物与乍承、欲心ニ迷ひ、是又買取、売払、徳用取、又者所持、或者遺捨候段、不届ニ付、所持之品取上、所払可申付候哉」

(附札)

「此伊三郎儀、伺之通

所持之品取上、所払

可被申付候」

右之者吟味仕候処、煮壳屋渡世致し罷在、去々申十一月去酉三月頃迄之内日不覚、前書寅吉・為吉并無積音吉儀、買取呉候様申之、油拾三樽・酒貳樽・餅米壹

石壹斗・白米七斗与衣類物数五拾七品、追々ニ持參候付而者身分不相応之品ニ而盜物ニも可有之与怪敷心付、直安ニも有之候付、徳用可致与欲心ニ迷ひ、都合代金拾九兩貳分与錢拾三貫文ニ買取候後、右音吉儀盜物之由申之、炭拾壹俵持參、同様買取呉候様申之候付、是又欲心ニ迷ひ代錢貳貫文ニ買取候上、酒壹樽者内本町太郎左衛門町山城屋嘉助江代金三分三朱、白米四斗者撰州南平野町和泉屋嘉吉江代金壹兩与銀三匁、油不残与五拾三品者伊賀之者之由居所不存市部屋庄次郎与申者江代金拾九兩壹分、餅米八斗者是又居所不存異名湯葉屋与申者江代金貳兩与錢八百文ニ売払、其余之米酒者食用致し仕舞、炭不残者焚仕舞、其余之品ハ所持致し、差引金壹兩壹分式朱、銀壹匁与右所持之品徳用有之、右売代売徳金銀錢共、当座ニ遣ひ捨候処、被捕候由申之候付

(朱書)

「右嘉助・嘉吉相糺候処、申口符合仕、伊三郎申聞候趣、実事与存、嘉助者煮壳屋渡世、嘉吉者食用可致積

ニ而買取候後、嘉助者店先ニ而往來人江追々ニ売払、嘉吉者給仕舞候由申之、嘉吉者代金銀、嘉助者売代、売德金銀を以差出、何れも馴合候筋不相聞候得共、嘉助者出所不糺之酒買取、嘉吉者同様之米買取候段、不念ニ付、嘉助者売德錢取上、嘉吉一同代金銀損失可申付与奉存候、尤庄次郎并異名湯葉屋居所相知不申候、且所持之品取上置申候」

右之外ニも同様之品買取、多分之徳用取候儀可有之与重々吟味仕候処、曾而右様之儀無之由申之候得共、右始末不届之旨、吟味詰候処、無申披由申之候

西高津新地四丁目

炭屋福三郎借屋

大和屋

去西十月廿二日入牢
同十一月十日重病ニ付、下宿所預

政 吉
戌三拾四歳

(黄紙下ヶ札)

「此政吉儀、古手屋渡世いたし罷在、寅吉・為吉并行衛不知音吉より買取呉候様申之、持参候品者身分不相応ニ而盗物ニも可有之与怪敷心付、其上右品之内ニ

者古道具屋仲間ニ不加候而者売買難相成品も有之処、徳用可致与欲心ニ迷ひ、自儘ニ右品をも取交、買取候後、猶又音吉儀買取呉候様申之、持参候品者盗物与乍承、欲心ニ迷ひ是又買取、売払、徳用取、又者所持いたし居候段、不届ニ付、所持之品取上、所払可申付候哉」

(附札)

「此政吉儀、伺之通

所持之品取上、所払

可被申付候」

右之者吟味仕候処、古手屋渡世いたし罷在、去々申十一月より去西三月頃迄之内日不覚、前書寅吉・為吉并無宿音吉儀、買取呉候様申之、銅樋五間・半紙巻丸与衣類物数式百拾六品追々持参候ニ付而者身分不相応之品ニ而盗物ニも可有之与怪敷心付、尤右品之内ニ者古道具屋仲間ニ不加候而者売買難相成品も有之候得共、直安ニも有之候付、徳用可致与欲心ニ迷ひ兼而申渡受居候掟を背、都合代金拾四両式分式朱与錢拾五貫三百文ニ買

取候後、音吉儀盜物之由申之、衣類物數八品持參、買取吳候様申之候付、是又徳用可致与欲心ニ迷ひ、右品都合代金貳兩壹分ニ買取候上、慥成品之由申偽、三拾貳品者兼而人書面西高津新地四丁目大和屋巳之助相頼、同人判組、此もの置主ニ而質屋南竹屋町橋屋喜次郎方江代金八兩壹分壹朱与錢六百元之質物ニ差入、銅樋不残与五拾九品者店先ニ而往來人江代金六兩壹分、貳拾五品者居所不存穢多異名矢田部与申者江代金壹兩壹分貳朱、三拾品者無宿兵庫の寅吉江代金四兩三分壹朱ニ充払、其余之品所持いたし、差引五兩壹分三朱・錢三百文与右所持之品徳用相成、右質代・売代・売徳金錢共当座ニ遺捨候処、被捕候由申之候付

(朱書)

「右巳之助相糺候処、申口符合仕、政吉申聞候趣、実事与存、質入之判組ニ相成遺候由申之、質屋喜次郎品差出、定法之質取方ニ而馴合候筋不相聞候得共、出所不糺之品質入之判組ニ相成遺、殊ニ置主政吉御仕置申付候儀ニ付、旁質代金錢償可申付与奉存候、尤

往來人并寅吉又者異名矢田部居所相知不申候、且所持之品取上置申候」

右之外ニも同様之品買取、多分之徳用取候儀可有之与重々吟味仕候処、曾而右様之儀無之由申之候得共、右始末不届之旨、吟味詰候処、無申披由申之候

無宿

米屋の

伊和吉

戌拾八歳

去酉十月廿二日入牢

(朱書)

「此者盜致し、無宿緋屋町の伊三郎与申名前ニ而、去酉四月二日於堺入墨之上重敲相成候旨、申立候付、堺奉行江及問合候処、無相違旨申越候」

同

お玉の

岩吉

戌拾九歳

同断

(朱書)

「此者盜又者不届有之、五年以前午正月廿七日入墨敲可申付処、右所

業および候節者幼年之儀ニ付、重
敲、其後盜又者不届有之、去々申
六月七日入墨、去西四月十三日重
敲申付候者ニ御座候」

同

江州の

庄 吉

戌拾六歳

同断

(朱卷)

「此者盜致し、五年以前午四月十八
日敲可申付処、無宿幼年之儀ニ付、
非人手下申付候後、四年以前未五
月七日敲、其後猶又盜いたし、同
十二月廿六日入墨可申付ものニ候
得共、幼年之儀ニ付、敲、去々申
七月四日入墨、其後不届有之、去
西四月十九日重敲可申付者ニ候得
共、惡事いたし候節者幼年之儀ニ
付、五十日手鎖等夫々可申付処、
非人手下之儀ニ付、入墨之外度毎
当表四ヶ所長吏共江引渡、夫々相
当之仕置可申付旨、申渡候者ニ御
座候」

(黄紙下ヶ札)
「此伊和吉外式人儀、先達而盜又者不届有之、伊和吉者

於境入墨之上重敲相成、岩石者入墨敲可申付処、盜・
惡事いたし候節者幼年之儀ニ付重敲、其後盜又者不届
有之、入墨重敲、庄吉者敲可申付処、其節者無宿幼
年之儀ニ付、非人手下申付候後敲、猶又致盜、入墨
可申付者ニ候得共、幼年之儀ニ付、敲入墨、其後不
届有之、重敲可申付処、惡事いたし候節者幼年之儀
ニ付、五十日手鎖等可申付ものニ候得共、非人手下
之儀ニ付、入墨之外度每當表四ヶ所長吏共江引渡、
夫々相当之仕置可申付旨申渡候身分不慎、此もの共
儀死亡伊三郎ニ出會候節、難洪ニ而難給続次第話聞候
処、同人儀往來人懷中いたし居候を盜取候由申明、
金品惠與候付、如何之儀与乍心付、欲心ニ迷ひ貰受、
分ヶ取遣ひ捨、又者所持いたし居候段、不届ニ付、伊
和吉・岩石者重敲申付、庄吉も同様可申付処、非人
手下之儀ニ付、當表四ヶ所長吏共江引渡、右相当之
仕置可申付旨可申渡候哉」

(附札)

「伊和吉外式人儀、伺之通

伊和吉・岩石者重敲

申付、庄吉も同様可申付処

非人手下之儀ニ付、当表四ヶ所

長吏共江引渡、右相当之

仕置可申付旨可被申付候」

右之者共吟味仕候処、去酉十月十四日此者共儀、於途中無宿カケキヨの伊三郎ニ出会候節、難洪ニ而難給続次第話聞候処、同人儀人群集ニ紛、往来人懐中いたし居候を盗取来候由申明、金四両壹朱与紙入壹ツ惠具候付、如何之儀与心付候得共、銘々難給続折柄ニ付、欲心ニ迷ひ、右金品貰受、伊三郎与立別候上、右金子者分ケ取、当座ニ遣ひ捨、紙入者伊和吉所持致し居候処、被捕候由申之候付

(朱書)

「右伊三郎をも召捕及吟味候処、申口符合仕、いまた

口書不申付内病死仕候、尤右被盜主相知不申候、且

伊和吉所持致し居候紙入取上置申候」

実者伊三郎申合、俱々盜致し候儀ニ可有之与重々吟味仕

候処、曾而右様之儀無之由申之候得共、右始末不屈之旨、吟味詰候処、無申披由申之候

(朱書)

「一前書口々取上置候品、追而落着之節、被盜主共江

可渡遣与奉存候」

右吟味仕候趣、書面之通御座候、御仕置之儀黄紙下ケ札を以相伺申候、尤右者久須美佐渡守参之節引渡候一件之内ニ御座候、以上

戌三月

川村壹岐守

(端裏書)

「御仕置御差図相濟候者之内

病死仕候儀御届書付

鳥居越前守」

一強盜并盜

盜物与承候品又者同品ニも

可有之与怪敷乍心付買取 一件之内

或同様心付候品仲間ニ不加

買取徳用取

一盜金品貰受

川村老岐守

無宿

大坂の

寅 吉

当三月晦日病死

無宿木周の梅吉外六人、盗并最前吟味之節、怪敷心付候品乍買取押包、又者雇主之金子を以博突いたし候一件吟味仕候趣、左之通御座候

右之もの、御差図之通、御仕置可申付処、頭書之通、病死仕候付、其段一件之もの江申渡候、依之此段申上候、以上

無宿

木周の

梅 吉

当正月十六日入牢

戌式拾貳歳

鳥居越前守

戌四月

5 文久二年四月晦日 無宿梅吉外六人、盗并最前吟

味之節、怪敷心付候品乍買取押包、又者雇主之金子を以博突いたし候一件

(朱書)

「此者無宿若石与申候節、勢州津おゐて致盜、同所役場江被捕、去西五月十六日三拾歳相成候旨申立候付、藤堂和泉守当表屋敷詰家来江相尋候処、無相違旨申聞候」

(表紙)
「文久二戌年四月晦日差出、同五月八日差図、同月廿日承附(朱書)

同

丹波の

重 吉

戌拾三歳

盗并最前吟味之節
一 怪敷心付候品乍買取押包 一件吟味伺書
一 雇主之金子を以博突いたし

同断

書面伺之通御仕置可申付旨御附札を以被仰渡承知仕候

(朱書)

「此者致盜、去西十月十九日死罪可申付処、幼年之儀ニ付、入墨敲申付候ものニ御座候」

戌

五月七日

同穢多

木周の

同断

藤吉

戊式拾八歳

同断

男前の

当三月廿三日入牢

東吉

戊三拾式歳

〔朱書〕

〔此者無宿穢多菊石の藤吉与申候

節、盜又者不屈有之、六年以前已

三月二日入墨之上重敲、去々申七

月四日重敲可申付処、穢多之儀ニ

付、入墨之外度每当表穢多村年寄

江引渡、重敲相当之仕置可申付、

申渡候ものニ御座候〕

〔黄紙下ヶ札〕

〔此梅吉外三人儀、梅吉外式人者先達而盜又者不屈有

之、梅吉者勢州津ニおゐて三拾敲相成、重吉者死罪可

申付処、幼年之儀ニ付、入墨敲、東吉者入墨之上重

敲、猶重敲可申付処、穢多之儀ニ付、入墨之外兩度

共当表穢多村年寄江引渡、重敲相当之仕置受候身分

不慎、梅吉・東吉者志人立、又者此もの共并先達而御

仕置申付候長次郎・行衛不知長吉・若立加、手合を

替申合、所々人家土藏表裏口之戸建寄有之を引明、

又者明掛り有之内江立入、或壁之破レ合潜り入、又者

戸口并揚ヶ店之板鑿を以固辞放し、炭火ニ而焼切等い

たし、手を入門を外し明、立入、盜いたし、并店先

ニ有之品をも盜取候而已ならず、東吉儀猶も強盜可相

働与脇差所持罷在候段、一同不屈ニ付、梅吉外式人者

死罪申付、重吉も同様可申付処、幼年之儀ニ付、重

敲可申付候哉〕

〔附札欠〕

右之者共吟味仕候処、梅吉儀去西五月廿日頃合同十一

月迄之内日不覚、勢州并紀州在所之村名不存人家表口

之戸明掛り有之候内江立入、金壹朱、勢州津領通用卷

匁、銀札三拾枚、百文錢三枚、錢三百文、衣類等八品、

四ヶ度ニ盜取、同月日不覚、梅吉・藤吉儀無宿大和の

長次郎・同長吉申合、泉州草部村辺人家裏口之戸建寄

有之候を引明立入、銅火鉢壹、白米五升計、衣類五品

盜取、同月中旬日不覚、梅吉・藤吉儀右長吉申合、同

村辺人家壁之破レシ潜り入、白米貳斗、衣類等七品盜

取、同月廿五日東吉老入立、撰州今宮村辺人家表口之

戸鑿を以固辭明立入、台所ニ差置有之候柳骨折内之金

三兩三分、かせ糸目方貳拾目、革田葉粉入老、黒袖頭

巾老盜取、同月下旬日不覚、梅吉・藤吉儀右長吉申合、

河州由井村辺人家土藏壁之破レシ潜り入、潰銅目方貳

貫目計、麦五斗入式俵、実綿拾斤計盜取、同十二月上

旬日不覚、梅吉・藤吉儀無宿安申合、同州在村名不存

人家裏口之戸建寄有之候を引明立入、衣類七品盜取、

同断梅吉老入立、紀州府中村辺人家ニ而も同様衣類七

品盜取

(朱書)

「右被盜主共相知不申候」

同月廿八日重吉・東吉儀無宿若申合、唐物町四丁目人

家表揚店之板、鑿又者荷ひ棒を以固辭外し手を入、戸

之門を外し明立入、箆筭引出錠前を同様固辭外し、金

老兩、錢九百文、衣類物數五拾七品、白米貳升盜取、

右荷ひ棒捨置立出

(朱書)

「右被盜主者長濱屋藤右衛門ニ而、残し有之候荷ひ棒持

參、訴出申口符合仕候、尤右荷ひ棒取上置申候」

同月晦日此もの共并右長吉・若申合、銚屋町辺人家店

先ニ差置有之候物數五品盜取

(朱書)

「右被盜主相知不申候」

当正月六日此もの共并右若申合、岩田町人家表口戸尻

を炭火を以焼切、手を入門を外し明立入、嶋木綿六拾

八疋、染木綿貳拾六疋、荷ひ棒老本盜取

(朱書)

「右被盜主者綿屋七右衛門ニ而訴出申口符合仕候」

拾六品者住所不存吉五郎与申もの江代銀拾匁与錢五貫

文、拾三品々・潰銅・実綿共、同断安江代金老兩与銀

百貳拾六匁、貳品者往來之古手買江代錢百三拾文ニ売

払、貳品者是又住所不存はるゝ長町九丁目大坂屋長兵

衛江代錢老貫拾貳文、四拾八品者先方不存、同拾三貫

文ニ売払貫、貳品者右はる江預ケ置、麦者式俵共取捨、

三品者安、七品者若持退、白米并右壳代共手合之分者分ケ取、食用又者遺捨、三品者梅吉着破り、其余之品不残所持罷在候儀ニ而、東吉儀猶強盜可相働与泉州堺町名不存古道具屋ニ而拵付、脇差老腰買調所持、当表江立越、未右盜不相働候内、此もの共追々被捕候段、申之候付

(朱書)

「右清兵衛相糺候処、古道具屋渡世いたし、代錢并壳徳錢共差出、馴合候筋不相聞候得共、買取候節、証人無之、不念ニ付、壳徳錢取上、代錢損失可申付与奉存候、且所持之品并脇差共取上置申候

一前書長次郎儀、先達而召捕吟味之上、盜并右品壳払遣、又者買取徳用取、博奕勝錢之代りニ衣類受取、或右を壳捌遣一件与有之題号を以、去酉十一月御仕置相伺、御差図之通、御仕置申付候儀ニ而、其節長次郎申立ニ而者、書面梅吉・藤吉等手合之廉無之候付、再応右兩人吟味仕候処、本文之通無相違旨申立、申口符合不仕候得共、右躰長次郎者御仕置申付候もの

之儀ニ而梅吉・藤吉申口ニ符合いたし候共、長次郎御仕置重り候儀も無之哉ニ付、旁右ニ不拘吟味詰候儀ニ御座候、尤長吉外式人并吉五郎外式人共行衛等相知不申候付聞探、長吉外式人者捕方手当をも申付置候」
右始末不届之旨、吟味詰候処、無申披誤入候由申之候

無宿

小丹波の

当三月九日入牢

熊吉
戊戌拾八歳

(黄紙下ケ札)

「此熊吉儀、所々人家表口之戸明掛り有之内江立入、又者椽先床机之上、或軒下竿ニ掛ケ有之衣類盜取候段、不届ニ付、入墨之上重敲可申付候哉」

(附札)

「此熊吉儀、伺之通入墨

之上重敲可被申付候」

右之者吟味仕候処、去酉三月廿当三月二日頃迄之内日不覚、摂州在村名不存、所々人家表口之戸明掛り有之候内江立入、又者椽先床机之上、或軒下竿ニ掛有之候衣

類七拾壹品、三拾ヶ度計リニ盜取

(朱世)

「右被盜主共相知不申候」

拾八品者出所不申明、知人其節同州池田村ニ住居、古手屋渡世いたし候大津屋与兵衛江代銀九匁与錢五貫八百八拾四文、六品者往來之古手買江同壹貫三百七拾貳文ニ売払、貳品者所持之由申偽、同州瀬川村治兵衛江預ヶ置、四拾壹品者居所不存通名大坂市江売渡候儘代錢未請取、四品者同断由藏江具遣、右売代銀錢不殘遣捨候処、被捕候段、申之候付

(朱世)

「右治兵衛相糺候処、熊吉申聞候趣、実事与存、無何心預り置候品者盜物之由吟味ニ付、承之驚入候段申之、品差出、馴合候筋不相聞候得共、篤与出所も不相糺預り置候段、不念ニ付品取上、急度叱り置可申与奉存候、且古手買名所并大坂市・由藏居所相知不申候」

右始末不届之旨、吟味詰候処、無申披由申之候

当三月九日入牢、重病ニ付、
同月廿日高原溜預
与兵衛
戌六拾歳

(朱世)

「此者撰州池田村大津屋与兵衛与申候節、盜品買取、徳用取候付、去西十二月廿五日所払申付候者ニ御座候」

(黄紙下ヶ札)

「此与兵衛儀、熊吉持參候衣類者盜物与者不申聞候共、同人身分不相応之品ニ而怪敷乍心付、利欲ニ拘、買取売払等いたし、其後被捕候節、右次第押包、外同様之品買取候儀而已申立候段、不届ニ候得とも、所払御仕置受候後者悪事無之ニ付、御仕置之不及沙汰旨、可申渡候哉」

(附札)

「此与兵衛儀、伺之通御仕置之不及沙汰旨
可被申渡候」

右之者吟味仕候処、撰州池田村ニ住居いたし、古手屋仲間ニ加り、古手并紙屑類出買渡世罷在、知人前書熊吉

儀去酉九月日不覺衣類拾八品持參、買取吳候様申聞、右者同人身分不相応之品ニ而怪敷、心付候得共、下直ニ買取、徳用可致与欲心ニ拘り、代銀九匁与錢五貫八百八拾四文ニ買取、右之内三品者同村山本屋徳兵衛江代銀貳拾四匁三分、八品者同村紀伊國屋芳兵衛江同五拾壹匁九分、六品者往來之古手買江代錢九百三拾四文ニ売払、壹品者着破、差引凡銀拾七匁七分計り徳用相成遣捨候処

(朱書)

「右徳兵衛・芳兵衛相糺候処、兩人共古手屋渡世いたし、与兵衛売出候品者別条有之間敷与存、買取店売等いたし候処、吟味ニ付、本文之趣承之、驚入候旨申之、銘々代銀并売徳銀差出、馴合候儀者勿論、仲間同士取引之儀ニ付、不念之筋不相聞候得共、与兵衛儀最前御仕置申付候儀ニ付、売徳銀取上、代銀損失可申付与奉存候、且古手買名所相知不申候」

其後被捕、吟味之節、右次第押包、外悪事之筋申立、脇書之通御仕置請、無宿ニ相成、所々知辺之方江手寄、取凌居候儀ニ而、右御仕置請候後者相愼罷在候処、被捕

候段申之候付、実者外悪事も可有之旨察度申聞、再応吟味仕候処、前ニ申立候外、何等之悪事ニ携候儀も無之段申之候得共、右始末不屈之旨、吟味詰候処、無申披由申之候

(朱書)

「一前書口々取上置候品并代銀錢を以差出候分共、持主有之廉者追而落着之筋可渡遣与奉存候」

天満板橋町

平野屋利兵衛借屋

播磨屋佐兵衛悴

卯之助事

当三月十日入牢、申口相分
同月十八日下宿所預

万 助
戌式拾四歳

(黄紙下ヶ札)

「此方助儀、伊右衛門方日雇中、同人申付受、頼母子講掛ケ金取集ニ罷越、先々ニ而受取候金子を以、名前不存もの共手合ニ加、博奕相催打負候段、不屈ニ候得共、吟味中右金子者此もの親類共ニ相償、伊右衛門損失申分無之旨、申立候間、重敲可申付候哉」

(附札)

〔此万助儀、伺之通

重敲可被申付候〕

右之者吟味仕候処、十三才之頃、同所瀧川町麦物問屋渡世葭屋伊右衛門方ニ奉公いたし、追々成人ニ随ひ遊興を好、主家用向を欠、不奉公いたし候付、四年以前未三月暇出相成、父佐兵衛手元ニ罷在候得共、稼方も無之候ニ付、伊右衛門方江詫入賞、去酉八月十六日、日雇ニ而再勤いたし候得共、兎角身持難相慎、遊興ニ耽、右払金調達心掛居候折柄、主家伊右衛門加入之頼母子講落札相成候付、右掛ケ金取集之儀申付受、当月晦日右瀧川町大津屋五郎兵衛・酢屋利助方ニ而金五兩ツ、請取候上、所々遊歩行候途中、京橋辺明家鉢之所ニ而名前不存もの共寄集、博奕相催居候を見受、手合ニ加、右金子を以五拾文迄之賭錢ニ而長半与唱候賽博奕いたし、不残打負候付、無致方立帰り、伊右衛門江者右金子先々ニ而未請取趣ニ申繕、右償方致心配、其後者病氣ニ事寄伊右衛門方江不罷越候処、被捕恐入候段、

申之候付

(朱世)

〔右伊右衛門相糺候処、本文之通り掛ケ金取集之儀、万助江申付差遣候処、先方留守中等ニ而未請取由申候付、実事与存居候処、吟味ニ付、同人申口之趣承之、驚入候段申之、然ル処右金子者万助親類共相償、損失并申分無之由申之候、且右博奕相催候場所并手合之者、名前相知不申候付、聞探捕方手当申付置候〕

右始末不屈之旨、吟味詰候処、無申披由申之候

右吟味仕候趣、書面之通御座候、御仕置之儀黄紙下ケ札を以相伺申候、以上

戌

四月

川村壹岐守

(端裏世)

〔御仕置御差図相濟候者

之内相果候儀申上候書付

川村壹岐守〕

盗并最前吟味

一之節怪敷心付候品

乍買取押包

一件之内

一 雇主之金子を以
博奕いたし

死罪

御仕置之不及
沙汰旨申渡

一盗

一件之内

一 拾ひもの

敲

無宿

木周の

梅

吉

同機多

木周の

藤

吉

当時無宿

与兵衛

無宿

池田の

新

助

同

江州の

松

之助

右者頭書之通御仕置可申付旨、御附札を以被仰渡候

処、梅吉者去ル九日、藤吉者同十四日、与兵衛者同七

日、新助者同十五日、松之助者同十二日病死仕候付、

存命ニ候ハ、夫々頭書之通御仕置可申付ものニ候段、

一件之もの江申渡候、依之此段申上候、以上

戊

五月

川村壹岐守